

# 学びの広場

## ふるさととの歴史再発見

教育委員会の生涯学習の基本方針の一つに「文化財の保護活用」があります。この方針から昨年8月号では、19点の「松田の指定文化財」を紹介したところでした。今回は、平成21年度に開催した二つの講座「松田の歴史探訪〜寄地区の歴史と寺社〜」と「河村氏の興亡と南北朝の動乱」の内容を紹介いたします。

### 「松田の歴史探訪〜寄地区の歴史と寺社〜」

昨年7月11日に開催、松田文化財保護委員の平賀康雄さんを講師に迎えました。講座は講義形式を取らず、寄地区を歩きながら見て回る体験形式で行いました。

「家の落人」伝説は参加者の興味を引きつけました。「平家の落人」伝説は、縄文式土器、源氏に敗れた平氏が住むようになる前の平安時代の土師器(はじき)が、寄神社の北側の畑など、寄の各地区から出土していること、明快に説明されました。



▲寄神社にて

次は、福昌院に移動し、福昌院の歴史や旧寄村の生活に関する説明があり、あわせて本堂にある仏像や欄間(らんま)の絵などを見学しました。最後は、大寺観音堂で、ここは旧大寺村の観音堂であり、馬頭観音が安置してあります。馬頭観音は、江戸時代になって馬の保護信仰として広く信仰されましたが、魔物を退治し、人間の煩惱を静めることがそもそもの由来であったそうです。大



▲大寺観音堂にて

この講座は、2回に分けて開催、1回目は2月13日、山北町文化財保護委員の藤井良晃さんを講師に迎えました。

### 「河村氏の興亡と南北朝の動乱」

寺観音堂が当時の信仰の場で、また地域の人が話し合いのために集まる場所であったことは、現在の地域集会施設と同じ役割だという説明に、参加者たちは大きくうなずいていました。

最初は、河村城の興亡にかかわる時代の背景を説明、その後は、河村城が落城するまでの経過を具体的に話

されました。地形がけわしく、守りに有利な河村城が戦の場になったのは、正平7年(1352年)から正平8年までの室町時代。河村氏が足利尊氏配下の武将・畠山清の軍を敵として籠城戦を行いました。結局は兵糧が尽きて足利軍の総攻撃で4月に落城しました。「梅風記」はこの落城を細かく記録したものです。

休憩後、「梅風記」の文章の一部を講師と一緒に読みました。内容が落城であるため、陰字が使用されたり、行列の順序がさまざまであったりして読解が非常に困難だったことを語られています。

2回目は2月20日に開催、山北町文化財保護委員の藤井良晃さんと、河村城を築いた発掘されてきた安藤文一さんの二人を講師に迎え、体験形式で行いました。



▲藤井さんの講演から

参加者は、藤井さんの案内で、山北駅から歩いて現地へ向かいました。急斜面に整備された歩道を一步一步登り、敵の侵入を困難にしようとした造られた畝(うね)堀などの説明を受けました。頂上に

着いて城跡に立つと、眼下に山北町の様子が見とれます。酒匂川や皆瀬川に囲まれ、地形がけわしく、守りに有利だった当時の様子が実感をもって伝わってきました。そのほかには、足柄の地が防衛に大切な場所であったこと、各時代の敵に対する構えの変化が発掘状況から分かったことなど、現地を歩きながら説明されました。現地は現在も発掘調査中で、未発掘の場所はシートで覆われ、保護されていました。

帰りには、山北町の中央公民館の資料室に立ち寄り、「梅風記」の写しなどを見学しました。写しとはいえ、目の当たりにすると達筆な文章に感銘を受けます。落城の秘話を、なんとしても後世に伝えようという確かな意志が、一点一画の止め、払いなどの筆筆にまで、端正に表れていました。



▲本城郭から見た木橋と蔵郭

## 団塊さん、いらっしやい④

### 「コーロ・しるふれい」

女声合唱団「コーロ・しるふれい」は、1995年に誕生。現在の指揮者である杉山範雄先生との出会いは、その5年後の2000年でした。以後、展示ホールでのクリスマスコンサートを経て、今年までに3回の定期演奏会を町民文化センター大ホールにて開催。次回第4回は、2012年5月を予定しています。

先日、発表曲が決まり、2年後の演奏会を目指して練習が始まりました。「三つの抒情」(作詞・立原道造・中原中也、作曲・三善寛)をはじめとして、アカペラ曲(間宮芳生・松下耕・木下牧子らが作曲)を数曲、ミュージカル「ウエストサイドストーリー」(サウン



ドオプミュージック」などから数曲、さまざまな歌を披露します。杉山先生は、ジャズやゴスペルなど、クラシック以外の曲にも精通され、多彩なプログラムを毎回組んでいます。上品で楽しい演奏会はいつも好評です。

メンバーは36〜88歳までと幅広く、27名です。練習は、毎週金曜日の午前9時30分から正午まで。体ほぐしの体操と発声練習で約30分、その後は本格的に、曲の練習が始まります。

体を楽器にして音楽を楽しむコーラスは、誰でも気軽に始められます。良い音を出すには、努力が必要ですが、皆で心を合わせてひとつのステージを作り、大ホールで歌い尽くした後の達成感は、格別です。あなたも一緒にいかがですか？

【問合せ】教育課生涯学習係  
☎(83)7023